



Technology X Open Innovation

2022年9月期 [第41期] 第2四半期決算補足資料

株式会社システムソフト

TYO : 7527

2022年5月13日

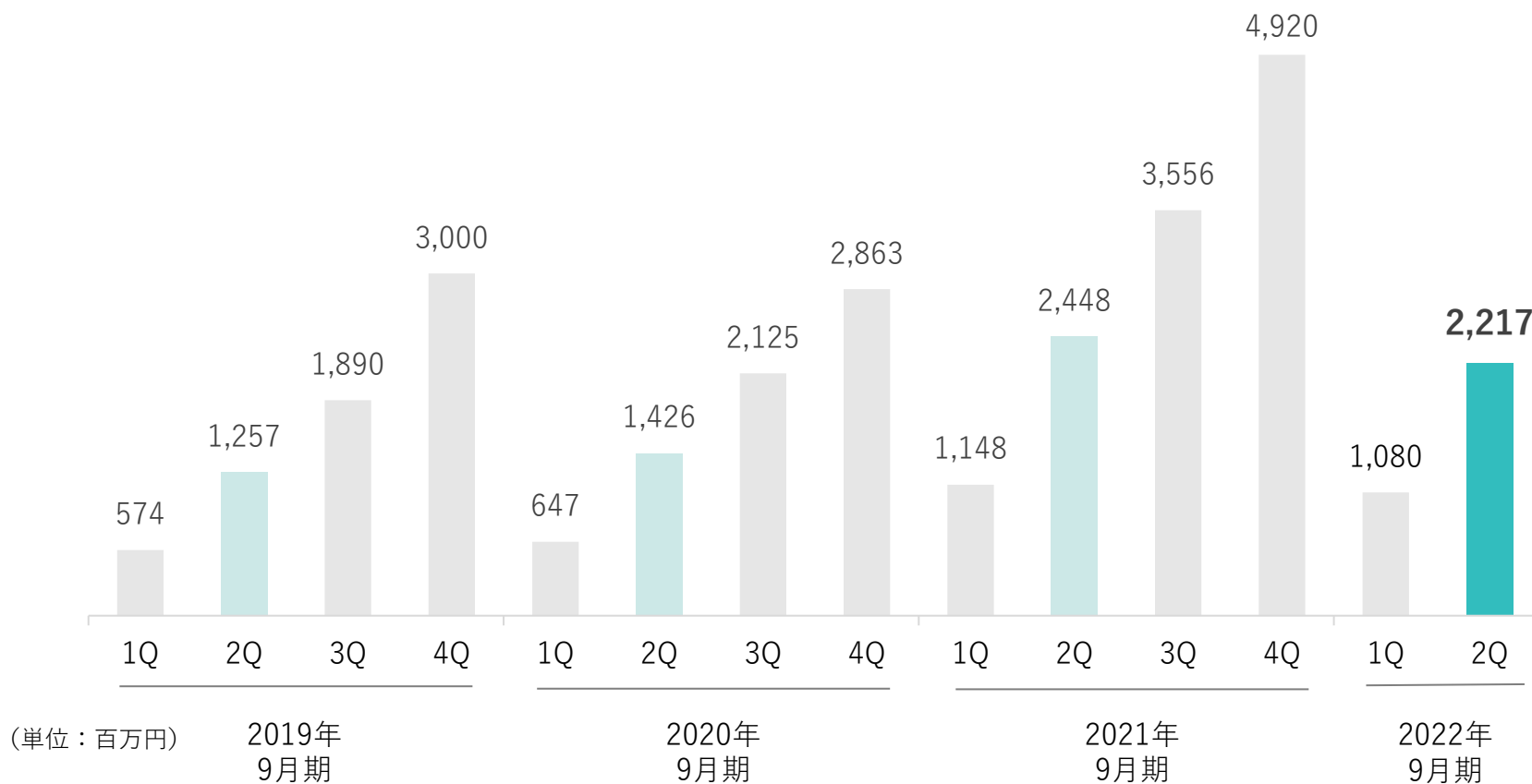
- 2022年9月期 第2四半期 決算概要
- 2022年9月期 業績予想
- Appendix 中期経営計画

2022年9月期 第2四半期 決算概要

利益率の高い案件が下期に変更
下期に利益が積み上がる計画

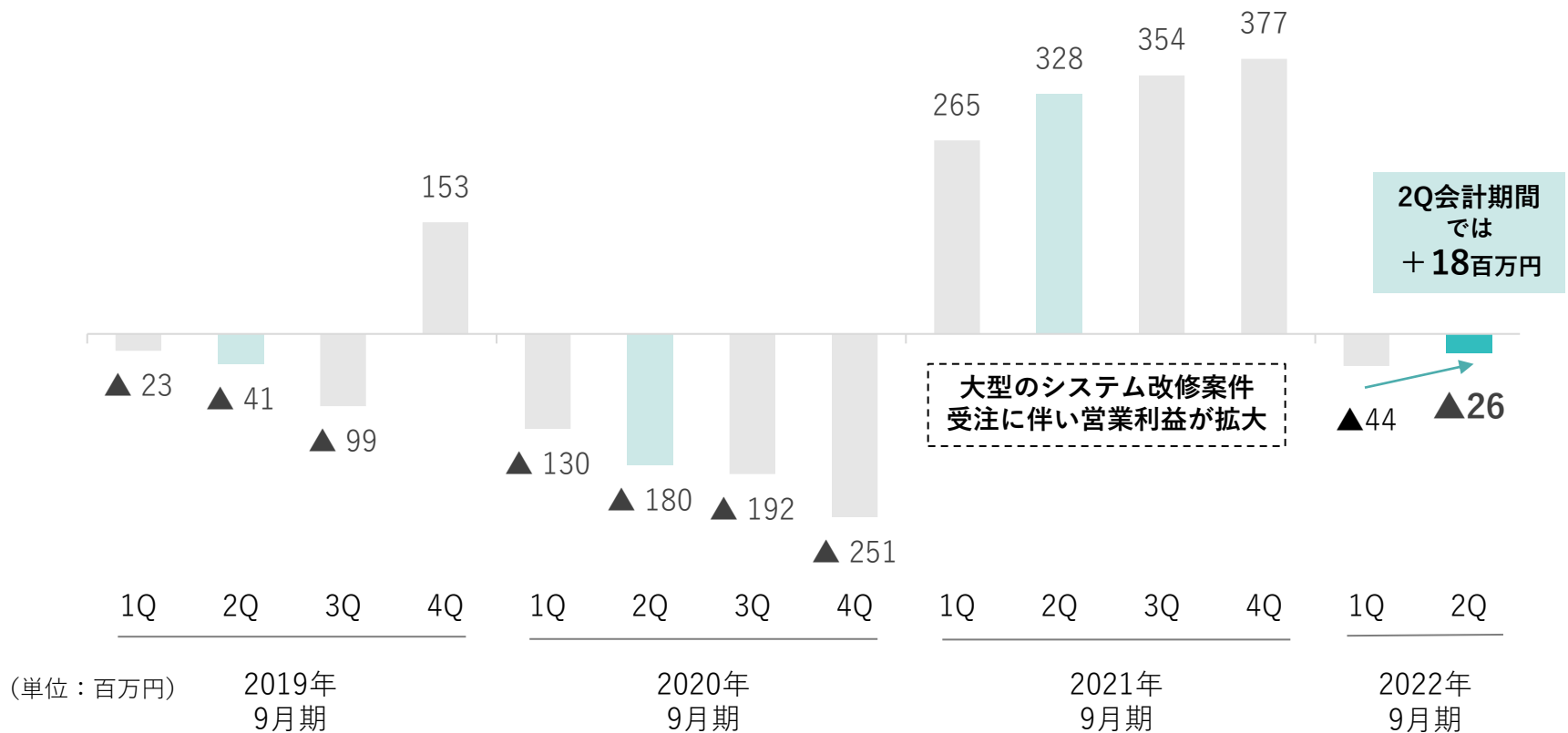
(単位：百万円)	2020年2Q		2021年2Q		2022年2Q	
	額	率	額	率	額	率
売上高	1,426	100%	2,448	100%	2,217	100%
売上総利益	114	8.0%	778	31.8%	446	20.1%
販売管理費	295	20.7%	449	18.3%	473	21.4%
営業利益	▲180	▲12.7%	328	13.4%	▲26	▲1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲529	▲37.1%	509	20.8%	▲54	▲2.4%

プロジェクトが下期にずれ込んだことにより前期を下回る



営業利益 四半期推移（累計期間）

2Q会計期間ではプラスだが、累計では1Qのコスト負担が影響



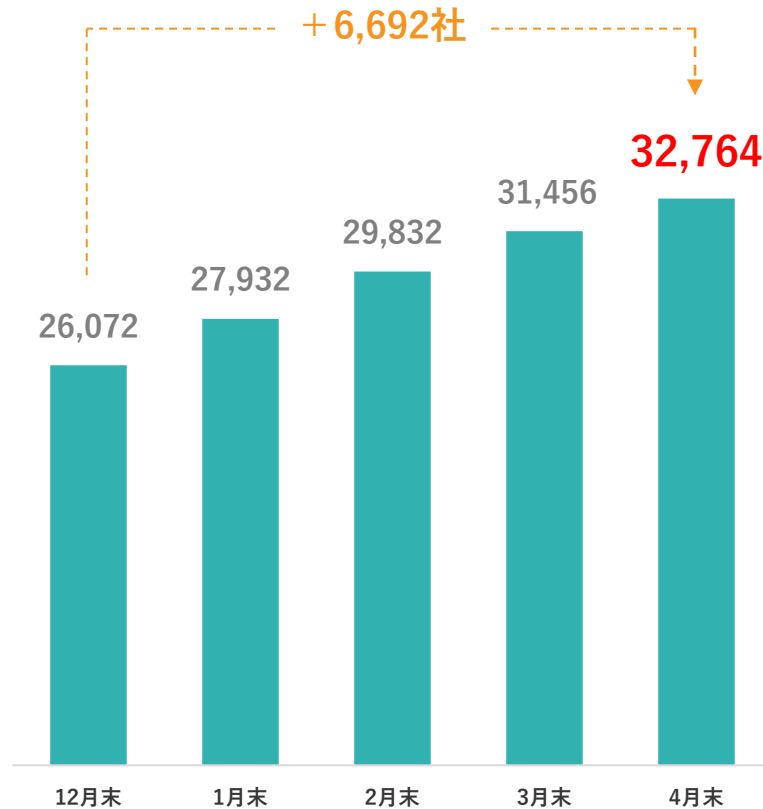
貸借対照表

(単位：百万円)	2021年4Q	2022年2Q	増減
流動資産	4,158	3,918	▲240
固定資産	3,308	3,153	▲155
流動負債	1,103	924	▲178
固定負債	525	475	▲50
純資産	5,838	5,672	▲166
資本金	1,663	1,706	+42
資本剰余金他	4,149	3,971	▲178
総資産	7,467	7,071	▲395

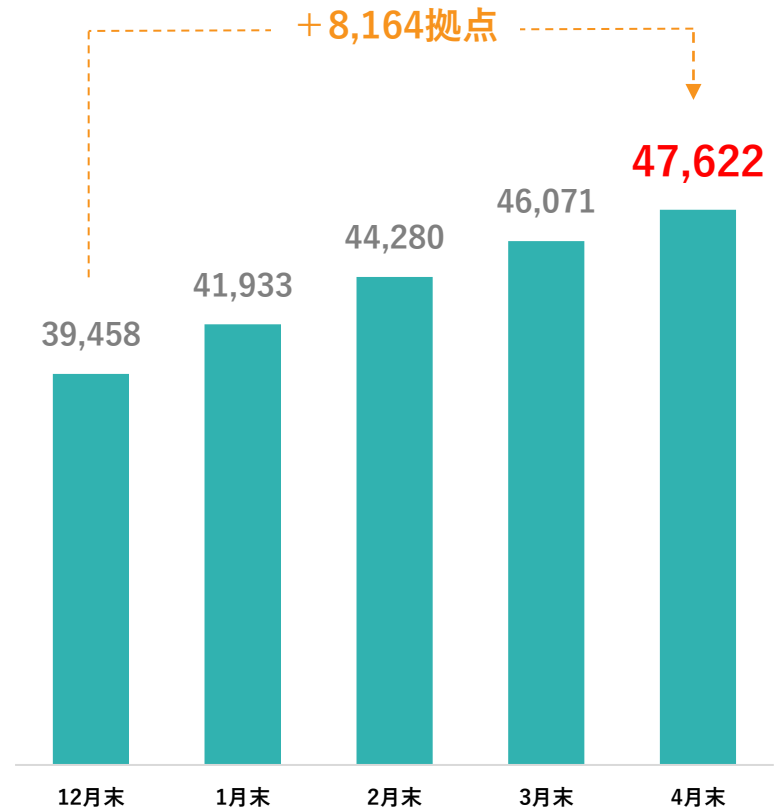
SSクラウドシリーズ利用状況

積極的な営業活動により、日本最大級※の導入実績を実現

利用企業数（累計）



利用拠点数（累計）



「累計利用拠点数」は、クラウド毎の幹旋会社と管理会社の利用拠点数を単純に合計した数字です。（管理会社は、お申込みいただいた中で本店、支店、営業所、店舗をカウント）
「累計利用企業数」は、クラウド毎の幹旋会社と管理会社の利用企業社数を単純に合計した数字です。
※当社調べによる

不動産企業向け SaaS「SKIPS」 新たに家賃保証会社 4 社とシステム連携 連携実績は全18社に

■ 新たに連携を開始した家賃保証会社（50音順）

- 株式会社アルファー（鹿児島県）
- 株式会社ジャックス（東京都）
- 株式会社ラクーンレント（東京都）
- 株式会社 JPMC ファイナンス（東京都）

・・・順次連携会社拡大予定

SKIPSと連携した家賃保証会社は、入居申込を行った入居希望者の情報をシステム上で確認可能に。申込書提出や審査完了までの業務効率が向上。



■ これまでの連携実績（50音順）

- アーク株式会社（岩手県）
- 株式会社アプラス（大阪府）
- あんしん保証株式会社（東京都）
- 株式会社エポスカード（東京都）
- エルズサポート株式会社（東京都）
- 株式会社オリコフォレントインシュア（東京都）
- 株式会社クレデンス（東京都）
- 株式会社グローバルトラストネットワークス（東京都）
- ジェイリース株式会社（大分県）
- 株式会社全国賃貸保証（東京都）
- 全保連株式会社（沖縄県）
- ナップ賃貸保証株式会社（東京都）
- 日本セーフティー株式会社（東京都）
- ほっと保証株式会社（北海道）

SSクラウドシリーズとの連携で さらに業務効率を向上させるサービスを展開

2021年10月～2022年3月 累計利用実績

振込代行サービス
「FliCO」

83,220 件

前年同期比

118.6%

導入費用・月額費・口座開設不要
振込手数料の大幅削減

口座振替サービス

13,791 件

前年同期比

211.2%

記載・押印ミスの確認不要
口座振替にかかる手数料を大幅に削減

クレジットカード
決済サービス

約 **28.4** 億円

前年同期比

113.2%

不動産賃貸に関わる敷金や礼金など
入居一時金をクレジットカードで
決済するサービス

2022年5月 改正宅地建物取引業法が施行
不動産取引のオンライン化が全面解禁

DX化未対応企業に向け、クラウドサービス導入支援を強化

不動産業界がアナログからオンライン完結へ

脱ハンコ

重要事項説明書や契約書への押印が、電子署名やタイムスタンプに

書面交付不要

紙の書類から、電子契約書に。書類の保管も不要。

非対面

内見や契約時の手続きがすべてオンラインで可能に

- 体制構築の取り組み一環として、当社SKIPSが日本情報クリエイトの「電子契約システム」と商品連携



2022.05～商品提携開始

2022年9月期 業績予想

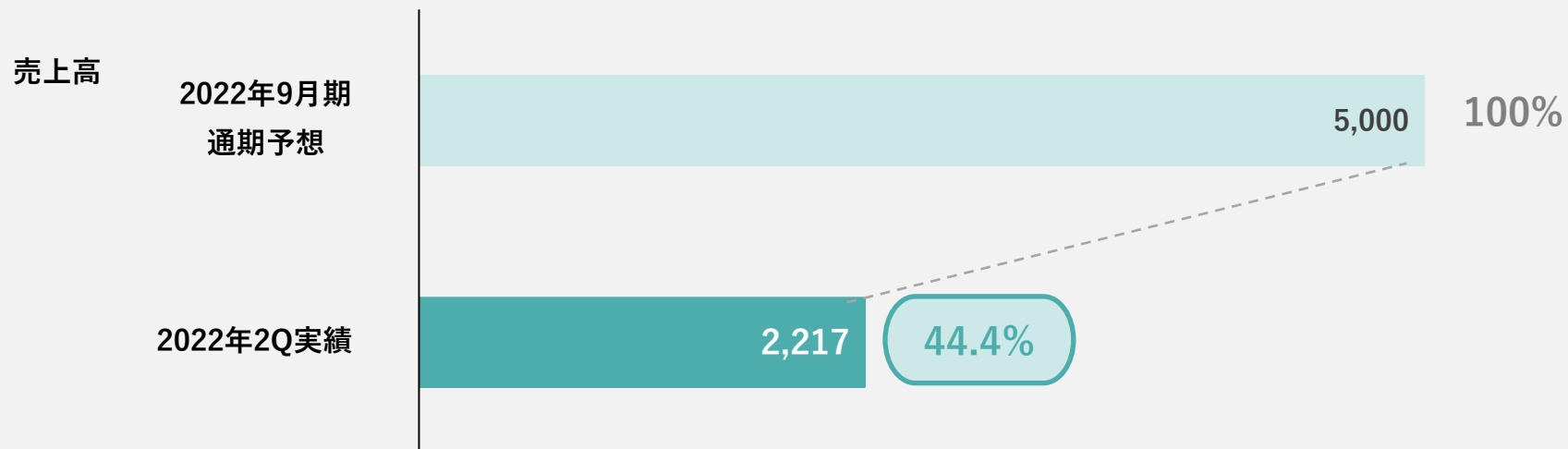
通期では売上高、営業利益ともに前年比増収増益を見込む
 システム開発・ソリューション事業は引き続き堅調に推移
 成長ドライバーとなるSaaSの導入件数をさらに拡大し、
 将来への収益力UPにつなげていく

(単位：百万円)	2021年9月期 実績	2022年9月期 予想
売上高	4,920	5,000
営業利益	377	400
経常利益	342	370
親会社株主に帰属する 当期純利益	483	220

2022年通期予想に対する2Q時点の進捗率は44.4% 通期予想は据え置く

通期予想に対する実績進捗

(単位：百万円)



1 既存事業強化

- システム開発・ソリューション事業は引き続き大型案件開発が進捗
- 増加する需要を捉え、確実に受注していく

2 SaaS契約数の拡大、収益化フェーズへの移行

- 不動産業界内での契約数拡大
- 新たなSaaS商品開発と他業種展開
- プロダクト価値向上とサービス品質の追求
- 22年9月度からSaaS商品の有償化を順次開始

3 認知度向上

Appendix 中期経営計画

短期

不動産業界のDX化におけるトップランナー



中長期

システムソフトのITテクノロジーと
イノベーションで社会のDXを推進

STRATEGY

テクノロジー

様々な種類のSaaSを展開、
高いシェアを獲得

サービスの質を高め
有料プランのリリース

オープン イノベーション

日本最大級1万人を超える
fabbit会員との提携・協業

主にSaaS技術や
ビジネスモデルの取り込み

新たな価値を。

システム開発・ソリューション事業は引き続き堅調に推移 成長ドライバーとなるSaaS事業が22年9月から 段階的に有償化を開始

(単位：百万円)	2022年9月期 予想	2023年9月期 予想	2024年9月期 目標
売上高	5,000	7,000	8,000
営業利益	400	700	1,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	220	500	700

詳しくは「中期経営計画 2022-2024」をご覧ください。

<https://www.systemsoft.co.jp/wp-content/uploads/2021/11/chuukei20211112.pdf>

テクノロジーと
オープンイノベーションで
社会のDXを推進

事業拡大・
企業価値向上を
目指す

現在

成長ドライバー

SaaS・RPA事業

従来の主要収益基盤

システム開発・ソリューション事業

テクノロジー



連携



連携



オープンイノベーション

多業種からなる会員規模との連携拡大
当社サービスを拡充・強化すると共に、新規ビジネス領域に参入

Technology × Open Innovation

Systemsoft

本資料は、株式会社システムソフト（以下、「当社」といいます）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。また、本資料に記載されている計画や見通しは作成時点における情報に基づき当社が判断し予測したものです。今後の経営環境の変化により、計画や見通しが大きく変動する場合があります。その場合には本発表の内容の更新・修正の義務は負うものではありません。以上を踏まえ、投資家の皆様にはご自身のご判断にて投資くださいますようお願い申し上げます。